

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

島本町長 山田 紘平

市町村名 (市町村コード)	島本町 (27301)
地域名 (地域内農業集落名)	高浜地区(農空間保全地域) (高浜地区)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年12月23日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕地面積7.08ha、島本町経営基盤強化基本構想による利用権設定者4名、認定新規就農者1名、新規就農者(島本町認定)1名 ・当該農地は、水稻が中心だが、認定新規就農者がイチゴの栽培を開始する等幅広い栽培が行われようとしている。 ・経営体数はそれほど多くはないが、有機農業等の環境にやさしい栽培に取り組む担い手も存在している。 ・景観形成の一環として、一部の農地で毎年、レンゲを栽培している。 ・一部の農地で、ファミリー農園を開園しており、町内在住の方が農業体験をすることができる。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作者・所有者の高齢化が進んでいる。 ・農産物の価格が安すぎるので儲からない。 ・販売経路が限られている。 ・技術の継承がうまくいっていない。 ・農業機械が高い。 ・対象となる補助金がない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> ・今後、農業従事者の高齢化が進み、担い手不足が進行する可能性があるため、今年度に誘致した認定新規就農者法人のような地域の実状に即した経営体の育成に務める。 ・その他の在り方については、令和6年度以降に協議を行う。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	7 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

高浜地区市街化調整区域内の農空間保全地域

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

今後の担い手が検討中である農地の担い手を定めていき、地域で共有し、最終の地図を完成させ、地域計画に落とし込んでいくことを目指そうとしている。今後農地を拡大したいという方が何人かいるので、離農されたい方と個別に協議しつつ、集積・集約化に努める。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

地権者の貸付意向に基づき、農地中間管理機構(みどり公社)を活用し、段階的に集積・集約化に努める。

(3) 基盤整備事業への取組方針

特に無し

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

島本町、島本町農業振興団体協議会、高槻市東部土地改良区、みどり公社、JA高槻、大阪府、農政局等と連携して相談から定着まで支援できよう努める。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

特に無し

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

・JA高槻では、令和5年4月から、営農を指導してくれる課が新しくできた。不明点や指導して欲しいことがあれば、電話をすれば、出向いてもらうことができる。また令和6年度については、検討段階ではあるが、現在、農業塾というものを単発で行っているものを、今後は一年間を通じた研修をやっていきたいとJA高槻では考えている。高浜地区としては、JA高槻と連携を取りながら、技術の継承やスキルに関して共有できるように繋げていき、後継者の不安解消に繋げていきたい。

・大阪府が食べチョクというポータルサイトと業務連携している。そのようなECサイトやインスタなどのSNSの利用など新しい新しい販売方法を探っていくのも一つの方法かと思う。新しい販売方法に係る情報があれば、希望者には情報共有させていただきたい。

・機械の更新や、有機農業等の費用負担が大きいので、補助金事業の活用ができないか検討する。